

特42

460

富士古歌

22

東京圖書館

三 冊	三 號	四 七 架	函	音 樂 類	和 書 門
--------	--------	-------------	---	-------------	-------------

富士太報

之萩原院之住持也

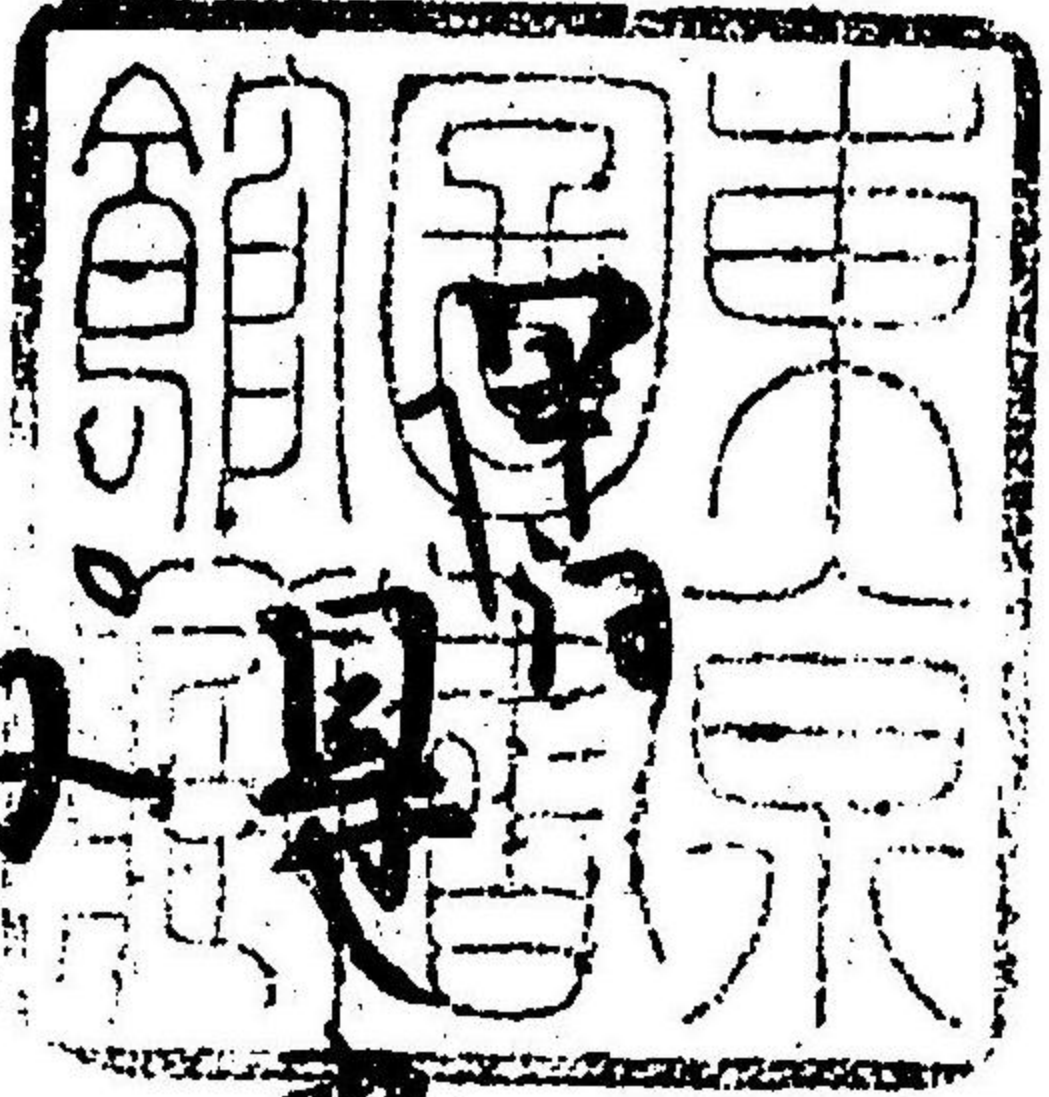
叔父内裏之七日の管轄の住持也

と云ふ。天王寺よりある處に申樂人

見へあるひあるたいとてよと手あて

と云ふときらねた敷の役とはんふ殿よ

又住吉より富士とや樂人乞も芳ら



ぬ太敷の上手さくゆる管絃の伎を
 らしむるにこそしゆゆの富士津
 向付きも面白き名也去あくる古ま
 予よまのあつちの清向の機を
 とらむる富の煙のくちあくるを
 たり時きちるなるを
 あつちの清向の機を

勅後さしむる富の者
 もあつちの清向の機を
 ちり振舞うるに
 よきあつちの清向の機を
 便のな帯を
 あつちの清向の機を
 形を
 富の上

是^昔の津の國は昔の樂人ぞ申
人の書はつらぬもつらぬ又十日
の管絃のまゝまゝのまゝのまゝ
樂人のたのしみは曲のつらぬも
た報の役世よかたもまゝのまゝ
らし具たの都よりし其のま

夢のふかしの月と雨 ^下まづる袖の
深しあなな ^上あなな
は ^上は ^下は ^上は ^下は ^上は ^下は
やうあは古親の ^中あは ^下あは ^上あは ^下あは
陽より ^下詠 ^上し ^下し ^上し ^下し ^上し ^下し
とも ^下あ ^上は ^下あ ^上は ^下あ ^上は ^下あ
掛 ^下帯 ^上の ^下し ^上し ^下し ^上し ^下し ^上し ^下し

明治十六年九月廿四日翻刻御届
同 年十月 刻成發兌

翻刻人

京都府平民

本田市次郎

上京區第三組上白山町廿番戶

定價金七錢

京 都 專 賣 書 林

北村 善兵衛
風月 庄左衛門
石田 忠兵衛
町田 與三吉
佐々木 總四郎
細川 清助
辻本 九兵衛
福井 孝太郎
竹岡 文助
福井 源次郎

村上 勘兵衛
辻本 定次郎
須磨 勘兵衛
遠藤 平左衛門
大谷 仁兵衛
杉本 甚助
大谷 玄之助
明田 嘉七
笹田 弥兵衛
田中 治兵衛

菱澤 重兵衛
内藤 彦一
川勝 徳次郎
今井 七良兵衛
藤井 淺次郎
近藤 太十郎
澤田 友五郎
西村 七兵衛
西村 九良左衛門
永田 調兵衛

